

## 平成29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心のできる暮らしの支援

サブテーマ：入所者個々人に合わせた食事提供で、安全で食べる楽しみのある生活を支援する

部署名：栄養課

- <概要>
1. 多職種協働のもと入所者一人ひとりに合わせて、安全な食事を提供することができた。
  2. おやつ等で排便を促す食材を取り入れ、規則的な排便に繋がった。
  3. 委託業者と連携し、災害時の食事が滞りなく提供できるように努めた。

- <総括>
1. 実際に各チームで食事介助を行う事で摂食状況を確認し、他職種と情報交換をする事により、入所者一人ひとりの状態に合わせて、安全な食事を提供することができた。  
季節や行事に合わせた献立を取り入れて、楽しんで食事をしてもらうことができた。  
看取りの入所者については、多職種や家族と連携して、一品でも本人の好む食べ物を提供したことで、人生の終末期における食べる楽しみを支援する事ができた。
  2. 寝たきりが多い桜谷チームにおいて、排便効果のあるおちらしをおやつに提供することで、2割程度の入所者に規則的な排便が見られるようになった。
  3. 給食委託業者との連携のもと年4回非常食の日を実施し、非常時の食事提供体制を確認する事ができた。  
しかし、2月に37年ぶりの豪雪にみまわれ、国道8号線の数日に渡る渋滞により食材配給の優先的確保ができず滞ってしまったが、デイサービスが休園になったことが、食材調整に繋がりを、結果、不測の事態を避けることができた。

このことを課題として食材備蓄体制を30年度に再度見直す。